

大規模小売店舗立地法に基づく添付書類について

- 1 法人にあっては法人の登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し別添のとおり

- ・すべての建物設置者について添付してください。
- ・届出日の前3月以内に発行されたものとします。
- ・正本1部以外はコピーの添付で結構です。

- 2 主として販売する物品の種類

| 小売業者名 | 主として販売する物品の種類 |
|-------|---------------|
| (株) | 食料品 |
| (株) | 衣料品 |
| | 日用雑貨 |
| (有) | 家電製品 |

- ・各小売業者ごとに、「食料品」、「衣料品」等代表的な取扱品の種類を記載してください。

- 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

- (1) 建物配置図 別添のとおり
(2) 各階平面図 別添のとおり

- ・建物の位置は「建物配置図」上に、店舗部分は「各階平面図」上にそれぞれ記載してください。また、駐車場、駐車場の出入口、駐輪場、荷さばき施設、廃棄物等の保管施設、遮音壁、冷却塔、室外機、送風機等の位置についても、建物配置図、各階平面図又は立面図に記載し、施設の高さ及び地上高も併記してください。
- ・「各階平面図」の縮尺は1/200、1/300、1/400、1/500のいずれかにしてください。
- ・店舗部分については、小売業者ごとに範囲を示してください。
- ・各階の平面図には、店舗面積部分以外にも主な併設施設（オフィス、映画館、飲食店等）を記載し、範囲を示してください。
- ・「各階面積内訳表」を下記の例に従って作成し、添付してください。

< 各階面積内訳表 > (単位：m²)

| 階 層 | | 地下1階 | 1階 | 2階 | 階 | 合計 |
|-------------|---------------------------|--------|----|----|---|----|
| 店 舗 面 積 | | | | | | |
| 施 設 部 分 | 荷さばき施設 | | | | | |
| | 廃棄物等の保管施設 | | | | | |
| | 駐車場・駐輪場 | | | | | |
| | そ の 他 | | | | | |
| 併 設 施 設 部 分 | 利用者が ある程度 特定され る | オフィス | | | | |
| | | マンション | | | | |
| | 利用者が 概ね一致 する | 飲食店 | | | | |
| | | 銀行ATM | | | | |
| | | クリーニング | | | | |
| 合 計 | | | | | | |

- ・「店舗面積」欄は、小売業を行うための店舗部分の面積を記載してください。
- ・「施設部分」欄は、荷さばき施設、廃棄物等の保管施設などの施設部分及び小売業以外の事業用部分の面積の内訳を記載してください。
- ・「利用者がある程度特定される併設施設」欄は、オフィス、マンションなど利用者がいる程度特定される施設の用に供される部分の面積を、また、「利用者が概ね一致する併設施設」欄は、レストラン、ゲームセンター、クリーニングなど当該施設を利用する者が小売店舗を利用する者と概ね一致すると想定される施設の用に供される部分の面積を記載してください。
- ・屋外の売場、屋外の荷さばき施設等を面積に含めた場合は、その旨を欄外に記載してください。

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

年間の平均的な休祭日のピーク1時間に予想される来客者等の必要駐車台数の算出

【 指針による必要駐車台数計算式 】

| | | | 各事項算出のための計算式等 |
|------------------|--------------------------|-------------------|---------------------------------------|
| 店 舗 部 分 | 地区の区分 | 商業地区・その他地区 | (理由:) |
| | S:店舗面積 | 千m ² | 小数第3位まで記載 |
| | A:店舗面積当たり日来店客数原単位 | 人/千m ² | 前年度末日現在の人口による |
| | B:ピーク率 | 14.4% | (ピーク: 時~時) |
| | L:駅からの距離 | m | (駅名: 線 駅) |
| | C:自動車分担率 | % | 人口 人以上 |
| | D:平均乗車人員 | 人/台 | |
| | F:小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数 | | $A \times S \times B \times C \div D$ |
| | E:平均駐車時間係数 | | |
| G:必要駐車台数計 | 台 | $F \times E$ | |

「G:必要駐車台数計」は小数点第1位を四捨五入して処理してください。

| | | | |
|---------------------------------|---|----------------|--|
| 併 設 施 設 等 部 分 | 従業員通勤用 | 台 | |
| | 業務用車両用 | 台 | |
| | 搬出入車両用 | 台 | |
| | 利用者がある程度特定される併施設設用 (施設面積計 m ²) | 台 | (根拠:) |
| | 利用者が小売店舗の利用者と概ね一致する併施設設用 (施設面積計 m ²) | 台 | 下欄の「判別値」< となった場合に記載してください (指針による比率:) |
| | 判別値 | m ² | $S \times 1000 \times 0.2$ |
| | その他 | 台 | |
| H:併施設設等必要駐車台数計 | 台 | | |

- ・「A:店舗面積当たり日来店客数原単位」、「C:自動車分担率」、「D:平均乗車人員」、「E:平均駐車時間係数」については、「指針」を参照してください。
- ・「B:ピーク率」の「ピーク」欄には、年間の平均的な休祭日における小売店舗の来客者がピークとなると想定される時間帯(1時間)を記載してください。
- ・「L:駅からの距離」欄は、最も来客者の利用が見込まれる駅の最寄りの改札口から、店舗の敷地を結んだ地図上の直線距離を記載してください。また、その根拠を示す資料(図面等)を添付してください。
- ・「併施設設等部分」欄は、届出書に記載した駐車場が小売店舗の来客者の車両と併施設設等の利用者の車両とで共用されている場合であって、これらの車両が駐車可能な部分が明確に区切られていない場合に記載してください。
- ・「利用者がある程度特定される併施設設」の必要駐車台数については、施設の用途や事業の種類等を考慮に根拠を示し、必要駐車台数を算出してください。
- ・「利用者が小売店舗の利用者と概ね一致する併施設設」の面積の合計が当該小売店舗の面積の2割を超えない範囲である場合は、当該併施設設のための駐車場を別途考慮する必要はありません。また、2割を超える場合は、「G:必要駐車台数計」に、指針による比率式で算出された比率を乗じて得た台数からGを差し引いた台数を最低限の目安として計上してください。

・併設施設の割合が小売店舗より過大な場合や併設施設のみへの来客の割合が大きい施設がある場合は、併設施設の面積にかかわらず、当該来客用の必要駐車台数を算出してください。

【 特別な事情により指針以外の方法で算出する場合 】

| | |
|-----------|---|
| 特別な事情の説明： | |
| 算出根拠： | |
| 必要駐車台数合計： | 台 |

・指針による計算式以外の方法で算出する場合のみ記載してください。

公共駐車場・借上げ駐車場等の利用の状況

| 位 置 | 店舗からの距離 (m) | 総収容台数 (台) | 使用可能台数 (台) | 使用可能台数の算出根拠 |
|---------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 別添「周辺見取図」のとおり | | | | |

・小売店舗の来客者用の駐車場として、公共駐車場や借上げ駐車場などを利用する場合に記載してください。

・当該駐車場の位置を添付図面「周辺見取図」上に記載してください。

・「店舗からの距離」欄は、当該駐車場の歩行者の出入口から店舗の敷地を結んだ直線距離を記載してください。また、その根拠を示す図面等の資料を添付してください。

・使用可能台数については、原則として、公共駐車場の場合は、店舗の来客者の車両用として確実に使用可能と見込まれる台数を、また、借上げ駐車場の場合は、店舗の来客者の車両用として契約している台数を記載してください。

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 年間の平均的な休祭日のピーク 1 時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

| 項 目 | | 予測来台数(台) | 予測来台数の算出根拠 |
|-----------|-------------------------|----------|------------|
| 小売店舗の来客者 | | | |
| 併設施設等の利用者 | 従業員通勤車両 | | |
| | 業務用車両 | | |
| | 搬出入車両 | | |
| | 利用者がある程度特定される併設施設 | | |
| | 利用者が小売店舗の利用者と概ね一致する併設施設 | | |
| 予測来台数合計 | | | |
| 駐車場出入口 | (別添建物配置図上 No.1) | | |
| | (別添建物配置図上 No.2) | | |
| | (別添建物配置図上 No.3) | | |
| | (別添建物配置図上 No.4) | | |
| | 予測来台数計 | | |

- ・年間の平均的な休祭日における小売店舗の来客者がピークとなる 1 時間について予想される自動車来台数を算出してください。(指針による必要駐車台数の計算式で算出可能です。)
- ・「併設施設等の利用者」欄は、届出書に記載した駐車場入口が小売店舗の来客者の車両と付設施設等の利用者の車両とで共用されている場合に記載してください。
- ・「利用者がある程度特定される併設施設」として複数の施設がある場合は、用途や事業の種類ごとに根拠を示し、予測自動車来台数を算出してください。また、「利用者が小売店舗の利用者と概ね一致する併設施設」について記載する必要がある場合は、同様に記載してください。
- ・「駐車場出入口」の「予測来台数計」欄は、「予測来台数合計」に記載された自動車の届出に係る駐車場の各出入口における分担台数を記載し、「予測来台数の算出根拠」の欄にその分担比率の考え方と算出根拠を記載してください。
- ・添付図面の「周辺見取図」上に、駐車場の出入口別の予測来台数に従って、来客者の自動車の台数を、主要幹線道路から駐車場の入口に至る道路や交差点ごとに記載してください。また、付設施設等の利用者の自動車についても予測をした場合、その台数も併記してください。
- ・交通量調査を実施する場合は、別紙「交通量調査及び交通量予測の記入例」を参考に記載してください。

(2) 駐車場の自動車の出入口の形式

・駐車場形式が自走式で発券ブースがない場合は、記載不要です。

年間の平均的な休祭日のピーク1時間における駐車場の入庫処理能力

| 駐車場出入口 | 予測来台数 (台) | 入庫処理能力 (台) | 入庫処理能力算出のための計算式等 |
|-----------|--------------|---------------|------------------|
| 配置図上 No.1 | | | |
| 配置図上 No.2 | | | |
| 配置図上 No.3 | | | |
| 配置図上 No.4 | | | |
| 合計 | | - | - |

- ・「駐車場出入口」の「予測来台数」欄は、(1)の数字を転記してください。
- ・「入庫処理能力算出のための計算式等」欄は次の計算式を記入してください。
 [入庫処理能力]
 $\{ 60 \text{分} / (\text{メーカーから提供される1台あたりの処理時間(分)} + \text{乗客の乗降時間(分)}) \}$
 (× 発券ブース等の台数：1つの出入口で複数台設置されている場合)
- ・「メーカーから提供される1台あたりの処理時間」を示す仕様書、パンフレットなどがあれば添付してください。

敷地内駐車待ちスペース

| 駐車場出入口 | 駐車待ち スペース(m) | 必要な駐車待ちスペース | |
|-----------|-----------------|-------------|------|
| | | 長さ (m) | 算出根拠 |
| 配置図上 No.1 | | | |
| 配置図上 No.2 | | | |
| 配置図上 No.3 | | | |
| 配置図上 No.4 | | | |

- ・「算出根拠」欄は、次の計算式を記入してください。
 [必要な駐車待ちスペース]
 $(\text{当該入口の1分当たりの来台数(台)} \times 1.6 - \text{当該入口の1分当たりの入庫処理可能台数(台)}) \times 6$ (m : 平均車頭間隔)

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

| 項目 | 具 合 的 な 内 容 |
|--------------------------|--|
| 自動車の案内誘導経路 (店舗敷地内を含む) | 別添「周辺見取図」及び「建物配置図」 のとおり |
| 案内看板等の設置 | 設置場所：別添「周辺見取図」のとおり 内容等： |
| 交通整理員の配置 | 設置場所：別添「周辺見取図」又は「建物配置図」 のとおり 人数、配置日時等： |
| チラシ等の配布 | 配布方法： 内容等： |
| その他 | |

- ・看板等の設置場所、交通整理員の配置場所等については、別添図面「周辺見取図」又は「建物配置図」上にその予定場所を記載してください。

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

| | 時間帯 | 搬出入車両 | | 荷さばき 処理能力 (台) 60/A×B | 平均的な荷 さばき処理 時間(分/台) A | 同時作業 可能台数 (台) B | 平均的な荷さば き処理時間と同 時作業可能台数 の算出根拠 | 荷さば き車の 騒音 レベル |
|---|-----|--------------|----|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------|--|-------------------------|
| | | 主な車種 ・大きさ | 台数 | | | | | |
| 1 | 時台 | t車 | | | | | | |
| | 時台 | | | | | | | |
| | 時台 | | | | | | | |
| 2 | 時台 | | | | | | | |
| | 時台 | | | | | | | |
| | 時台 | | | | | | | |

- ・「時間帯」欄は届出に係る荷さばき施設ごとに、荷さばきを行うことができる時間帯を1時間ごとに区分してください。
- ・「主な車種」欄は当該時間帯において、主に荷さばきを行う車両の車種を「t車」というように記載してください。
- ・「平均的な荷さばき処理時間」欄は当該時間帯において扱われる積み荷の種類や作業の効率から予測される平均的な処理時間を記載してください。また、その予測の根拠を「平均的な荷さばき処理時間と同時作業可能台数の算出根拠」欄に記載してください。
- ・「同時作業可能台数」欄は当該時間帯における「主な車種」に記載された車両が同時に作業することが最大限可能な台数を記載してください。また、その予測の根拠を「平均的な荷さばき処理時間と同時作業可能台数の算出根拠」欄に記載してください。
- ・荷さばき車の騒音レベルの欄には、フォークリフト等の騒音レベル値を記載してください。ただし、荷さばき車がバッテリー駆動等のため騒音がほとんど発生しない場合は記載不要です。

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

| 遮音壁の位置 | 遮音壁の高さ (m) | 遮音壁の幅 (m) | 遮音壁の厚さ (m) | 材質・構造 |
|---------|---------------|--------------|---------------|-------|
| 建物配置図 1 | | | | |
| " 2 | | | | |

- ・添付図面「建物配置図」上に遮音壁の位置を図示し、その高さ及び幅を記入してください。

9 冷却塔、冷暖房施設の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面

| 項目 | 稼動時間帯 | 位置 |
|-----|-------------|---------------|
| 冷却塔 | 1 時 分 ~ 時 分 | 別添「建物配置図」のとおり |
| | 2 時 分 ~ 時 分 | " |
| 室外機 | 1 時 分 ~ 時 分 | " |
| | 2 時 分 ~ 時 分 | " |
| 送風機 | 1 時 分 ~ 時 分 | " |
| | 2 時 分 ~ 時 分 | " |
| その他 | 1 時 分 ~ 時 分 | " |
| | 2 時 分 ~ 時 分 | " |

- ・添付図面「建物配置図」又は「立面図」上にこれらの機器の大きさ、位置、地上高を図示又は併記してください。

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 等価騒音レベルの予測の結果

[昼 間]

| 騒音発生源 | | 基準距離における騒音レベル等 | | 騒音継続時間 (時 ~ 時) 又は 騒音発生回数 | 予測地点までの距離 (m) | | | | 各予測地点における騒音レベル (dB) | | | | |
|-------|---------------|-----------------|----|-------------------------------------|--------------------|---------|---------|---------|-----------------------|---------|---------|---------|--|
| | | 騒音レベル (dB) | 根拠 | | A 地点 | B 地点 | C 地点 | D 地点 | A 地点 | B 地点 | C 地点 | D 地点 | |
| 定常騒音 | 冷却塔 | | | | | | | | | | | | |
| | 室外機 | | | | | | | | | | | | |
| | 給排気口 | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | |
| 変動騒音 | 自動車走行 | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばきアイトリング | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき後進ブザー | | | | | | | | | | | | |
| | 廃棄物収集作業 | | | | | | | | | | | | |
| | BGM等 その他 | | | | | | | | | | | | |
| 衝撃騒音 | 荷さばき 荷おろし音 | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき台車 走行音 | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | |

各騒音発生源及び遮音構造物の位置は、別添「建物配置図」に記載のとおり

| | 位置 | 高さ | 用途地域 | 地域の類型 | 予測値 | 基準値 |
|--------------------------------|-----|----|------|-------|-----|-----|
| 昼間(午前6時 ~午後10時)の 等価騒音レベル | A地点 | m | | | dB | dB |
| | B地点 | m | | | dB | dB |
| | C地点 | m | | | dB | dB |
| | D地点 | m | | | dB | dB |

[夜 間]

| 騒音発生源 | | 基準距離における騒音レベル等 | | 騒音継続時間 (時 ~ 時) 又は 騒音発生回数 | 予測地点までの距離 (m) | | | | 各予測地点における騒音レベル (dB) | | | | |
|-------|---------------|-----------------|----|-------------------------------------|--------------------|---------|---------|---------|-----------------------|---------|---------|---------|--|
| | | 騒音レベル (dB) | 根拠 | | A 地点 | B 地点 | C 地点 | D 地点 | A 地点 | B 地点 | C 地点 | D 地点 | |
| 定常騒音 | 冷却塔 | | | | | | | | | | | | |
| | 室外機 | | | | | | | | | | | | |
| | 給排気口 | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | |
| 変動騒音 | 自動車走行 | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばきアイトリング | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき後進ブザー | | | | | | | | | | | | |
| | 廃棄物収集作業 | | | | | | | | | | | | |
| | BGM等 その他 | | | | | | | | | | | | |
| 衝撃騒音 | 荷さばき 荷おろし音 | | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき台車 走行音 | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | | |

各騒音発生源及び遮音構造物の位置は、別添「建物配置図」に記載のとおり

| | 位置 | 高さ | 用途地域 | 地域の類型 | 予測値 | 基準値 |
|------------------------|-----|----|------|-------|-----|-----|
| 夜間（午後10時～午前6時）の等価騒音レベル | A地点 | m | | | dB | dB |
| | B地点 | m | | | dB | dB |
| | C地点 | m | | | dB | dB |
| | D地点 | m | | | dB | dB |

- ・騒音発生源となる各施設の配置及び寸法等を添付図面「建物配置図」に記載してください。
- ・周囲4方向における騒音予測地点（A地点、B地点、C地点、D地点）の位置と高さを添付図面「建物配置図」上に表示するとともに、騒音発生源と予測地点の間の遮音構造物の位置及び高さを記載してください。
- ・遮音構造物による遮音等の効果が見込まれる場合は、効果の大きさ(dB)も併せて記載してください。

(記載例)

| 騒音発生源 | | 遮音等の効果が見込まれる予測地点 | 遮音等の効果(dB) |
|-------|-----------|------------------|------------|
| 定常騒音 | 室外機 | | |
| 衝撃騒音 | 荷さばき荷おろし音 | | |

- ・当該店舗で小売業を行う者の営業時間帯（開店時刻から閉店時刻）以外の時間帯であっても、騒音の発生が見込まれる場合は、それらについても予測の対象としてください。
- ・「用途地域」は各予測地点に適用される都市計画法上の用途地域を記載してください。
- ・「地域の類型」ごとの基準値

| 地域の類型 | 基準値 | |
|-------|---------|---------|
| | 昼間 | 夜間 |
| AA | 50 dB以下 | 40 dB以下 |
| A及びB | 55 dB以下 | 45 dB以下 |
| C | 60 dB以下 | 50 dB以下 |

「騒音に係る環境基準について」(平成10年9月30日環境庁告示第64号)

(2) 等価騒音レベルの予測の根拠

別添根拠資料のとおり

- ・根拠資料には概ね次のような事項を記載してください。
 対象店舗及び周辺の住宅等の配置状況
 対象店舗周辺の用途地域の指定状況及び騒音関係法令等の指定状況
 予測・評価の手順
 騒音発生源のパワーレベル又は基準距離における騒音レベル、騒音の継続時間、予測地点までの距離など予測計算に必要なデータとその出典
 予測計算の経過及びその結果など

11 夜間（午後9時～午前6時）において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

(1) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測結果

| 騒音発生源 | 基準距離における騒音レベル等 | | 騒音継続時間 (時～時) 又は 騒音発生回数 | 予測地点までの距離 (m) | | | | 各予測地点における騒音レベル(dB) | | | | |
|-------|----------------|----|---------------------------------|------------------|----|----|----|--------------------|----|----|----|--|
| | 騒音レベル (dB) | 根拠 | | a | b | c | d | a | b | c | d | |
| | | | | 地点 | 地点 | 地点 | 地点 | 地点 | 地点 | 地点 | 地点 | |
| 定常騒音 | 冷却塔 | | | | | | | | | | | |
| | 室外機 | | | | | | | | | | | |
| | 給排気口 | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|------|------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 変動騒音 | 自動車走行 | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばきアイドリング | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき後進ガ- | | | | | | | | | | | |
| | 廃棄物収集作業 | | | | | | | | | | | |
| | B G M 等 | | | | | | | | | | | |
| 衝撃騒音 | その他 | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき荷おろし音 | | | | | | | | | | | |
| | 荷さばき台車走行音 | | | | | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | |

| | 位置 | 高さ | 用途地域 | 地域の類型 | 予測値 | 基準値 |
|-------------------------|-----|----|------|-------|-----|-----|
| 夜間(午後9時～午前6時)の騒音レベルの最大値 | a地点 | m | | | dB | dB |
| | b地点 | m | | | dB | dB |
| | c地点 | m | | | dB | dB |
| | d地点 | m | | | dB | dB |

- ・午後9時から午前6時の時間帯において騒音の発生が見込まれる場合に記載してください。
- ・当該店舗で小売業を行う者の営業時間帯(開店時刻～閉店時刻)が予測時間帯にかからない場合であっても、予測時間帯に騒音の発生が見込まれる場合は記載してください。
- ・「騒音発生源」欄は発生が見込まれる騒音源ごとに記載してください。例えば冷却塔が複数台あるような場合には、1台ごとに分類して記載してください。
- ・予測地点の「位置」を添付図面「建物配置図」上に表示してください。
- ・「用途地域」は各予測地点に適用される都市計画法上の用途地域を記載してください。
- ・遮音構造物による遮音等の効果が見込まれる場合は、効果の大きさ(dB)も併せて記載してください。

(記載例)

| 騒音発生源 | | 遮音等の効果が見込まれる予測地点 | 遮音等の効果(dB) |
|-------|-----------|------------------|------------|
| 定常騒音 | 室外機 | | |
| 衝撃騒音 | 荷さばき荷おろし音 | | |

・「騒音規制法」に基づく「特定工場等において発生する騒音の規制に関する夜間の基準値(県告示)

| | |
|-------|-------|
| 第1種区域 | 45 dB |
| 第2種区域 | 50 dB |
| 第3種区域 | 55 dB |
| 第4種区域 | 65 dB |

(2) 騒音発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の根拠別添根拠資料のとおり

- ・根拠資料には概ね次のような事項を記載してください。
 - 対象店舗及び周辺の住宅等の配置状況
 - 対象店舗周辺の用途地域の指定状況及び騒音関係法令等の指定状況
 - 予測・評価の手順
 - 騒音発生源のパワーレベル又は基準距離における騒音レベル、予測地点までの距離など予測計算に必要なデータ
 - 予測計算の経過及びその結果など
- ・等価騒音レベルの予測の根拠資料と別冊とする必要はなく、内容的に共通する部分は記載を省略することも可能です。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

廃棄物等の必要保管容量等の予測

【指針により算出する場合】

| | | 算 出 根 拠 等 | | | | | 必要保管容量 |
|---------------------------|----------------------------|------------------------------|------------------------|------------------------------------|---------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 小 売 店 舗 | 業 態 | 総合店、衣料品専門店、食料品専門店、住・生活関連品専門店 | | | | | - |
| | 廃棄物種別 | S 店 舗 面 積 (小数第3位まで記載) | 店舗面積当たりの廃棄物等 排出量原単位 | A 1日あたりの廃棄物等の排出予測量 (指針原単位×S) | B 平均 保管 日数 | C 見かけ比重 (t/m ³) | A×B÷C (m ³) |
| | 紙製廃棄物等 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | |
| | | 6,000 m ² 超の部分 | 千m ² | | (t) | | |
| | | | | | 計 t | | |
| | 金属製廃棄物等 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | |
| | | 6,000 m ² 超の部分 | | | (t) | | |
| | | | | | 計 t | | |
| | ガラス製廃棄物等 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | |
| | | 6,000 m ² 超の部分 | 千m ² | | (t) | | |
| | | | | | 計 t | | |
| | プラスチック製廃棄物 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | |
| | | 6,000 m ² 超の部分 | 千m ² | | (t) | | |
| | | | | | 計 t | | |
| | 生ごみ等 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | |
| 6,000 m ² 超の部分 | | 千m ² | | (t) | | | |
| | | | | 計 t | | | |
| その他可燃性廃棄物 | 6,000 m ² 以下の部分 | 千m ² | | (t) | 日 | | |
| | 6,000 m ² 超の部分 | 千m ² | | (t) | | | |
| | | | | 計 t | | | |
| D : 小売店舗必要保管容量計 | | | | | | | |
| 併 設 施 設 | 施 設 | 算 出 根 拠 | | | | 必要保管容量(m ³) | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | E : 併設施設必要保管容量計 | | | | | | |
| 必要保管容量合計(D+E) | | | | | | | |
| 届出保管容量合計 | | | | | | | |

【「C 見かけ比重」について指針の数値によらず算出した場合】

計算に用いた見かけ比重とその根拠：

【特別な事情により指針以外の方法で算出する場合】

特別な事情の説明：

算出根拠：

| | |
|-----------|----------------|
| 必要保管容量合計： | m ³ |
| 届出保管容量合計： | m ³ |

・「小売店舗」の「業態」欄は次のとおり分類し、該当するものを丸で囲んでください。

衣料品専門店

衣料品関連の取り扱い品目が70%（年間販売予定額ベース。「2 主として販売する物品の種類」を参照のこと。以下同じ。）を超えるなど主として衣料品を取扱う店舗

食料品専門店

食料品関連の取り扱い品目が70%を超えるなど主として食料品を取扱う店舗

住・生活関連品専門店

上記衣料品、食料品以外の取り扱い品目が70%を超えるなど主として住・生活関連品を取扱う店舗

総合店

衣料品、食料品、住・生活関連品に関する各種商品を取扱う店舗

・「販売品目内訳表」を下記の例に従って作成し、添付してください。

< 販売品目内訳表 >

| 主な販売品目 | 小売業者名 | 年間販売予定額（千円） | 割合（％） |
|--------|------------|-------------|-------|
| 食料品 | (株) (有) | 、 | |
| 衣料品 | (株) | 、 | |
| 日用雑貨 | (株) | 、 | |
| 家電製品 | (株) | 、 | |
| 合計 | | 、 | 100 |

・「併設施設」の欄は、併設施設から排出される廃棄物等を小売店舗用の廃棄物等保管場所に保管する場合に記載してください。

[店舗面積当たりの廃棄物等排出量原単位]

| 紙製廃棄物等 | | |
|--------|--------------------------------|-------|
| 店舗面積 | 6,000 m ² 以下の部分の原単価 | 0.208 |
| | 6,000 m ² 超の部分の原単価 | 0.011 |

(単位：t / 千m²)

| 金属製廃棄物等 | | |
|---------|--------------------------------|-------|
| 店舗面積 | 6,000 m ² 以下の部分の原単価 | 0.007 |
| | 6,000 m ² 超の部分の原単価 | 0.003 |

(単位：t / 千m²)

| ガラス製廃棄物等 | | |
|----------|--------------------------------|-------|
| 店舗面積 | 6,000 m ² 以下の部分の原単価 | 0.006 |
| | 6,000 m ² 超の部分の原単価 | 0.002 |

(単位：t / 千m²)

| プラスチック製廃棄物等 | | |
|-------------|--------------------------------|-------|
| 店舗面積 | 6,000 m ² 以下の部分の原単価 | 0.020 |
| | 6,000 m ² 超の部分の原単価 | 0.003 |

(単位：t / 千m²)

| 生ごみ等 | | |
|------|--------------------------------|-------|
| 店舗面積 | 6,000 m ² 以下の部分の原単価 | 0.169 |
| | 6,000 m ² 超の部分の原単価 | 0.020 |

(単位：t / 千m²)

| その他の可燃性廃棄物等 | | |
|-------------|--|-------|
| | | 0.054 |

(単位：t / 千m²)

[参考値：廃棄物等の比重]

| | 比重 |
|-------------|-------------|
| 紙製廃棄物等 | 0.10 |
| 金属製廃棄物等 | 0.10 - 0.15 |
| ガラス製廃棄物等 | 0.10 - 0.30 |
| プラスチック製廃棄物等 | 0.01 - 0.04 |
| 生ごみ等 | 0.55 |
| その他の可燃性廃棄物等 | 0.38 |

(単位：t / m³ = kg / L)